

■コメント

1. 伝染性紅斑

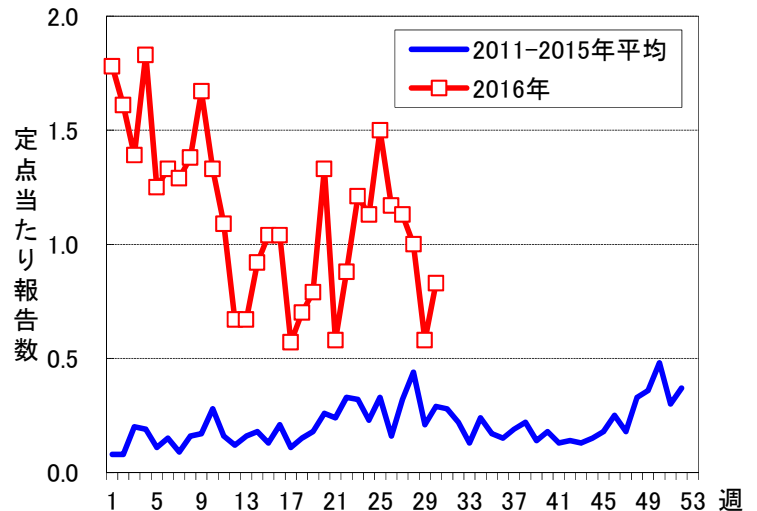
定点当たり0.83人と、前週と比べてやや増加し、多い状況が続いています。

引き続き、手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。

2. デング熱

1件(推定感染地域:国外)の報告があり、今年の累計は5件となりました。(次頁参照)

伝染性紅斑の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	22	0.92	0.70	
	咽頭結膜熱	16	0.67	0.63		眼科	RSウイルス感染症	8	0.33	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	1.58	1.20			急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	91	3.79	3.72			流行性角結膜炎	4	0.50	1.15	
	水痘	15	0.63	0.65		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	6	0.25	4.39			無菌性髄膜炎	1	0.14	0.14	
	伝染性紅斑	20	0.83	0.29			マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.11	
	突発性発しん	4	0.17	0.64			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	3	0.13	0.08			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	23	0.96	2.05							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	6	90	男性(20歳代)・1人、女性(20歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・2人、女性(80歳代)・1人
4	デング熱	1	5	女性(40歳代)・推定感染地域:国外
4	レプトスピラ症	1	1	男性(20歳代)・市外
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	14	男性(70歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶血性 レンサ 球菌咽頭 炎	感染性胃 腸炎	水痘	手足口 病	伝染性紅 斑	突発性発 しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性耳 下腺炎	RSウイル ス感 染症	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺 炎	クラミジ ア肺炎	(ロタウ イルス)	感染性胃 腸炎
報告数	広島市	第26週	-	25	57	120	15	7	28	10	1	57	14	1	-	4	-	-	5	-	1	-
		第27週	-	22	59	109	17	13	27	13	4	38	15	7	1	5	-	-	2	-	-	-
		第28週	1	26	45	69	15	8	22	14	2	24	15	13	-	8	-	1	2	-	-	-
		第29週	1	23	36	79	9	4	14	6	1	18	20	6	-	5	-	1	6	-	-	-
		第30週	-	16	38	91	15	6	20	4	3	23	22	8	-	4	-	1	4	-	-	-
定点 当たり	広島市	第26週	-	1.04	2.38	5.00	0.63	0.29	1.17	0.42	0.04	2.38	0.58	0.04	-	0.50	-	-	0.71	-	0.14	-
		第27週	-	0.92	2.46	4.54	0.71	0.54	1.13	0.54	0.17	1.58	0.63	0.29	0.13	0.63	-	-	0.29	-	-	-
		第28週	0.03	1.18	2.05	3.14	0.68	0.36	1.00	0.64	0.09	1.09	0.68	0.59	-	1.00	-	0.14	0.29	-	-	-
		第29週	0.03	0.96	1.50	3.29	0.38	0.17	0.58	0.25	0.04	0.75	0.83	0.25	-	0.63	-	0.14	0.86	-	-	-
		第30週	-	0.67	1.58	3.79	0.63	0.25	0.83	0.17	0.13	0.96	0.92	0.33	-	0.50	-	0.14	0.57	-	-	-
	全国	第28週	0.03	0.57	2.42	4.44	0.38	0.73	0.33	0.56	0.02	4.05	1.27	0.20	0.01	0.84	0.03	0.11	0.91	0.01	0.03	-
		第29週	0.02	0.48	1.74	3.51	0.32	0.71	0.28	0.47	0.02	3.52	1.22	0.20	0.01	0.77	0.02	0.09	0.79	0.01	0.01	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.6)	5	女	2016/06/22	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T12
その他の呼吸器疾患	発熱(39.0) 咽頭炎	0	男	2016/06/20	糞便	ハレコウイルス3型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.1) 細気管支炎	0	女	2016/06/22	咽頭拭い液 糞便	RSウイルス アデノウイルス2型
その他の消化器疾患	発熱(38.8) 下痢	0	女	2016/06/26	咽頭拭い液 糞便	ハレコウイルス3型
その他の疾患	発熱(38.4)	0	男	2016/06/19	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB5型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】蚊が媒介する感染症(デング熱、ジカウイルス感染症等)に注意しましょう。

●アジア、アフリカ、中南米等の熱帯・亜熱帯地域では、蚊が媒介する感染症(デング熱、ジカウイルス感染症等)が流行しており、全国では流行地域から帰国後に国内で発症する症例(輸入症例)が報告されています。

●流行地域を訪問する際には、昆虫忌避剤(虫除けスプレー等)の使用、長袖・長ズボンを着用して肌を露出させないなど、蚊に刺されないよう対策をとることが重要です。

●流行地域から帰国後に、発熱、頭痛、発しん等の症状が出た場合は、蚊に刺されないようにして、速やかに医療機関を受診してください。また、医療機関へは渡航歴を伝えてください。

●妊婦及び妊娠の可能性のある人の流行地への渡航は控えるとともに、海外へ渡航される際には、検疫所等のホームページで渡航先の感染症の流行状況を確認してください。

FORTH/厚生労働省検疫所ホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)

外務省海外安全ホームページ(<http://www.anzen.mofa.go.jp/>)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2016年第30週(7月25日～7月31日)